

船岡中

地域とのつながり大切に



これがイチオシ

1年通して美しい花々

季節ごとに姿を変える美しい花々を1年を通して楽しむことができ、白石川堤の桜が毎年春になるときれいに咲き誇る柴田町は「花のまち柴田」と呼ばれています。

そんな柴田町屈指の花見スポットとなっている船岡城址公園では、チューリップやバラをはじめとする200種近くの季節の花を見ることができ、桜やアジサイ、曼珠沙華などの花のイベントも盛んな他、冬のイルミネーションも人気です。町を見守る船岡平和観音像もシンボルとなっています。

学校名 柴田町立船岡中学校
所在地 柴田町船岡七作26
創立 1947年
電話 0224(55)1162
校長 中 秀司
生徒 443人

船岡中学校では、地域の方々とのつながりを大切にしたい取り組みを盛んに行っています。昨年度はボランティア活動の一環として、美術部と有志による「切り絵版画」という手法で制作したテーブル飾りと、全校生徒が心を込めた折り鶴を、公共施設や福祉団体、駅に寄贈しました。

今年5月には、町内にある柴田高校の皆さんから、交通事故防止の願いが込められた「けんちゃんのアサガオの種」をいただき、大切に育てているので、今から楽しみます。今後は、種を他の事業所に送り、活動を広げていきたいです。さらに、本年度からきれいな花が常に咲いている学校を目指し、生徒が花を知り、描き、育てる体験活動「フラワープロジェクト」も開始しました。



生徒が描いたランタナ(右上)、生徒会執行(しっこう)部の生徒たち(右下)、文化祭で神輿(みこし)を担(か)ついでいる生徒たち(左上)、切り絵版画のテーブル飾り(左下)

編集委員 南部琥太、平間颯太、藤森陽 (3年)
指導教員 鈴木愉貴

ボランティア活動に力

わが校わがまち スクール通信



次回は 鶴谷東小 (仙台市) 名取二中 (名取市)

本格コースで歩くスキー

川渡小



これがイチオシ

橋から見る菜の花と桜

私たちのイチオシはなんといっても川渡大橋から見える菜の花畑と桜です。花淵山には残雪が輝き、菜の花の黄色と桜のピンク色のコントラストがすばらしいです。

4月になると、上学年が下学年のお世話をしながら、全校でお花見に行きます。毎年、テレビ局が取材に来て、インタビューに答えています。

1年生は入学したばかりですが、お花見をすることで小学校のみんなと早く仲良くなれます。ぜひみなさんもお花見にいらしてください。

学校名 大崎市立川渡小学校
所在地 大崎市鳴子温泉築沢29
創立 1873年
電話 0229(84)7121
校長 八巻 秀
児童 77人

冬の名物タイム競走も

川渡小学校の特色は冬に行うクロスカントリースキーです。豊富な雪を利用して、体育の時間に校庭で練習をします。クロスカントリースキーは「歩くスキー」ともいわれ、細長いスキーをはいてすべります。1年生は、6年生に靴やスキーのはきかたやすべりかたなどを教えてもらいます。転ぶ人も少なくなつてなれてくると、上野々スキー場のコースに出て練習します。上り坂や下り坂などがあり、校庭とは違い難しくなります。コースでは地域

の方々が上手にすべることや、2月には「校内スキー大会」があり、1年生から6年生まで学年ごとにタイムを競います。家族も応援に来てくれて大変盛り上がる行事です。苦しくても頑張ることや、最後までやりぬく達成感をスキー学習を通して得ることが出来ます。今年も雪が降ったらスキー学習が始まります。川渡小は、来年1年で閉校になってしまうので、開校150年の伝統を大切に、スキー学習に取り組みでいきたいです。



校内スキー大会。ゼッケンをつけて本格(ほんかく)的なコースを滑走(かっそ)する児童たち

編集委員 中村颯佑、中鉢日珂、狩野七海、高橋弘嗣、伊藤芽唯 (6年)
指導教員 安部靖子